

# Excel関数とVBAの基礎

会員No	1
会社名	NTT 殿
担当者	あみ 様
年齢	20 歳
住所	東京
趣味	ゴルフ

## 動作説明

- ① 会員番号を入力します。  
(今回は1~4)
- ② 会員番号がクリックされたら、  
別シートのテーブルの”会員No”の  
項目を参照し自動で表示します。
- ③ リストから手動で選択入力します。  
(ですが会員Noをクリックすると  
趣味は自動で消えるようにします。)

## セルの書式設定説明

- ① ”会員No”は特になし
- ② ”会社名”~”住所”は、関数の”VLOOKUP”を使用して、別シートのテーブルを参照しています。
- ③ ”趣味”は、VBAを使っていて、”会員番号”がクリックされたら、”趣味”のセルを自動消去します。

(印刷シート名を右クリックでコードを表示できます)

```
Private Sub Worksheet_SelectionChange(ByVal Target As Range)
```

```
If Target.Count > 1 Then End  
If Not (Target.Row = 2 And Target.Column = 3) Then End
```

```
Range("c13").Value = ""
```

```
End Sub
```

## メモ

- Excel関数とVBAで業務改善しましょう！
- Excel関数では出来ない事がVBAでは出来ます！
- 痒い所に手が届くのがVBAなのです！
- しかし奥が深いのもVBAなのです！
- できた時の喜びが大きいのもVBAなのです！
- VBAは”コンテンツの有効化”で動作します。(通常マクロは無効です)



# Excel関数とVBAの基礎

## 印刷シートの作成手順

### 1, コメントの作成（セルの右上の赤色の三角）

- ①コメントしたいセルを右クリックし、「コメントの挿入」を選択する。
- ②文字を入力する。
- ③ホームタブの「フォント」で大きさ等編集する。

### 2, 会社名の関数、「VLOOKUP」の作成

- ①会社名を表示させたいセルを選択し、数式タブの「関数の挿入」コマンドを選択する。
- ②関数名の「VLOOKUP」を選択しOKする。
- ③検索値は、会員番号入力セルの「C2」と入力する。
- ④範囲は、別テーブルシートの検索テーブルを全体をドラッグし選択する。
- ⑤行番号の会社名は、2列目なので「2」と入力する。
- ⑥検索方法は、空白でよい。

### 3, 担当者の関数、「VLOOKUP」の作成

- ①担当者を表示させたいセルを選択し、数式タブの「関数の挿入」コマンドを選択する。
- ②関数名の「VLOOKUP」を選択しOKする。
- ③検索値は、会員番号入力セルの「C2」と入力する。
- ④範囲は、別テーブルシートの検索テーブル全体をドラッグし選択する。
- ⑤行番号の担当者は、3列目なので「3」と入力する。
- ⑥検索方法は、空白でよい。

### 4, 年齢の関数、「VLOOKUP」の作成

- ①年齢を表示させたいセルを選択し、数式タブの「関数の挿入」コマンドを選択する。
- ②関数名の「VLOOKUP」を選択しOKする。
- ③検索値は、会員番号入力セルの「C2」と入力する。
- ④範囲は、別テーブルシートの検索テーブル全体をドラッグし選択する。
- ⑤行番号の年齢は、4列目なので「4」と入力する。
- ⑥検索方法は、空白でよい。

### 5, 住所の関数、「VLOOKUP」の作成

- ①住所を表示させたいセルを選択し、数式タブの「関数の挿入」コマンドを選択する。
- ②関数名の「VLOOKUP」を選択しOKする。
- ③検索値は、会員番号入力セルの「C2」と入力する。
- ④範囲は、別テーブルシートの検索テーブル全体をドラッグし選択する。
- ⑤行番号の住所は、5列目なので「5」と入力する。
- ⑥検索方法は、空白でよい。

### 6, 趣味のリストの作成

- ①趣味を選択させたいセルを選択し、データタブの「データツールコマンド」から「データの入力規制」を選択
- ②設定の「入力値の種類」で「リスト」を選択する。
- ③「元の値」は、別テーブルシートの趣味のテーブル全体をドラッグし選択する。
- ④Okする。

# Excel関数とVBAの基礎

会員No	会社名	担当者	年齢	住所
1	NTT	あみ	20	東京
2	AU	いさ	25	大阪
3	DOCOM	うき	50	大阪
4	SOFT	えみ	35	京都

趣味
ゴルフ
お買い物
旅行
ドライブ
写真

(大阪の数)

2

①関数"COUNTIF"で  
"大阪"のみ計算します。

②条件付き書式で  
"大阪"の時だけ色をかえます。

③条件付き書式で、"30"以上の時には  
赤字にします。

## メモ

### 便利な関数

- ・関数"COUNTIF"でセルの指定文字を数えましょう！
- ・"条件付き書式"で指定文字のセルの背面色を変えましょう！
- ・"条件付き書式"で数値を超えたらセルの数字の色を変えましょう！
- ・セルにカーソルが来たらコメントで説明しましょう！
- ・セルに変な入力が入って来たらメッセージを出しましょう！



# Excel関数とVBAの基礎

## テーブルシートの作成手順

### 1、住所の”大阪”のみ計算”COUNTIF”の作成

- ①数字を表示したいセルを選択し、数式タブの”関数の挿入”コマンドを選択する。
- ②関数名の”COUNTIF”を選択しOKする。
- ③範囲は住所のテーブルをドラッグし選択する。
- ④検索条件は”大阪”と入力する。
- ⑤OKする。

### 2、住所の”大阪”の時だけ色を変える。

- ①色を変えたいセルを選択し、ホームタブのスタイルコマンドから”条件付き書式”を選択する。
- ②次に”セルの強調表示ルール”から”文字列”を選択する。
- ③次に”大阪”と入力し、書式はユーザー設定の書式を選択し設定する。
- ④OKする。

### 3、年齢の”30”以上の時には色を赤に変える。

- ①色を変えたいセルを選択し、ホームタブのスタイルコマンドから”条件付き書式”を選択する。
- ②次に”セルの強調表示ルール”から”指定の値より大きい”を選択する。
- ③次に”30”と入力し、書式はユーザー設定の書式を選択し設定する。
- ④OKする。

### 4、コメントの作成（セルの右上の赤色三角）

- ①コメントしたいセルを右クリックし、”コメントの挿入”を選択する。
- ②文字を入力する。
- ③ホームタブの”フォント”で大きさ等編集する。